

ろくおん通信

発行日：1994年7月15日

No. 65号

発行者：盲人情報文化センター録音製作係

リクエスト図書一覧

以下の図書は利用者から製作依頼を受けている図書です。
グループの方で引き受けて頂いた方の録音技術のアドバイスはさせていただきます。
是非、一度ご来館ください。お待ちしております。(録音製作係)

- 1 『鍼灸学』 <東洋医学>
- 2 『神道の成立』 / 高取正男著 : <宗教>
- 3 『連如 吉崎布教』 / 辻川達雄著 : <仏教>
- 4 『1928年。御大典の裏側で』 / 田中伸尚著 : <歴史>
- 5 『鍼灸医学における実践から理論へパート2』
- 6 『一期一会』 豊田都著 : <詩歌>
- 7 『灯』 2月~6月 松本正高編 : <詩歌>
- 8 『理想国家日本の条件』 大川隆法著 : <宗教>
- 9 『パーフェクト・キル』 A. J. ケイ著 : <小説>
- 10 『ストーン・シティ 上・下』 ミチル・スミス著 : <小説>
- 11 『ふざけんな! まだ死ぬずにいる日本のために』 / 安原顕著 : <随筆>
- 12 『新・太陽の法 エル・カンターレへの道』 大川隆法著 : <宗教>



引き受けて頂いた原本	グループ
『黄金を抱いて翔べ』 高村薫著 : <小説>	グループコスモス
『ウォッチャーズ上・下』 / R. クーンツ著 : <小説>	みなわ(奈良県)
『概説統一原理レベル4』 / レベル4編集委員会 : <宗教>	グループいずみ
『真犯人』 / P. コウエル著 : <小説>	グループいずみ
『平成とっておき人生川柳』 / 榎本勝起著 : <詩歌>	グループいずみ

○●◇◆□ 編集ボランティア募集 □◆◇●○

盲人情報文化センター録音製作では、録音図書の編集作業ボランティアを募集しています
編集作業の内容は、トーンインデックスの信号音を入れたり、雑音を除去したり、ボリュームを調整したり、校正作業とともに、別テープに読み直した部分のはめ込みなどです。

- 募集人員： 金曜日(2~3名) 土曜日(4~5名) 程度
活動曜日： 金曜日・土曜日の半日(午前・午後)~1日(10時~4時程度)の活動が可能な方
試験内容： 漢字の読み・面接
講習期間： 随時、期間は個人差あり。週1回(2時間)で約2ヶ月間程度。
申込方法： 録音製作係まで電話等でお尋ね下さい。

「音声訳」を考える(第16回)

録音の順序と各ポイント その3

7. 原本奥付……………原本奥付おわり

①墨字原本の最後にある奥付を記載してある順に読む。ただし、次のものは省略する。

- A. アルファベットで書かれた著作権者(C)
- B. 落丁、乱丁の断わり
- C. 発行者、印刷所、製本所
- D. 装幀者など

本のカバーなどにある定価も忘れないように入れる。

国際標準図書番号も忘れずに録音する。



国際標準図書番号 (ISBN) の読み方

ISBN4-334-0704-X → 『アイエスビー-エヌ、国際標準図書番号、ヨン、マイツ、サンサンヨン、
マイツ、イチナナヨン、マイツジ ユウ』

注意：ISBNの記号で、「X」は、「ジュウ=10」と読む

②書名は書かれている順序に関係なく最初に読む。著者名や書名がなくても入れる。表紙の書名と奥付の書名は統一して読む。尚、統一する場合は、標題紙(表紙をめくったところに書いてある題)に合わせる。

例 ○○ 上巻(標題紙) / ○○ 上(奥付) → ○○ 上巻

③書名で漢字の説明が必要なときは奥付で行う。

例 「しさろ」(死叉路)しは死亡するの死、さは交叉するのさ、ろはみち、
「自遊人」ジユウジン、ジユウノユウハ、アソビ

④定価の読み方は「定価○○円、本体○○円」と読む。

*定価、本体価格は裏表紙などにあることが多いので注意する。

⑤刷…本来の読みはスリ(サツと読まないように)

例 第一刷=ダイイチズリ

注意1. 発行日と印刷日が分かれている場合は、「発行日の方を読む」

注意2. 発行日がカバーに掲載されている場合があるから注意

⑥郵便番号、電話番号、振替番号の読み方にも注意すること

→〒150: 「ユウビンバンゴウ、イチゴーレイ(ゼロ)」

→電話(06)464-7311: 「デンワ レイ(ゼロ) ロク ヨンロクヨンノ
ナナサンイチイチ」

→振替 東京 1-49701: 「フリカエ トウキョウ イチノヨンキョウナナレ
イチ」

注意 最近、代表・販売・製作などの電話番号が掲載されているケースがあるがすべて読む。

8. 著者略歴(紹介)、訳者略歴(紹介)

①著者、訳者の略歴または紹介を読む。原本によって記載箇所はさまざまで、奥付、カバー、表裏表紙、帯などにある場合があるので、見落とさないように注意すること。著者名がない時も著者名は読むようにする。児童図書などで「画家」の紹介がある場合は、著者と同様に扱う。

②著者の紹介がカバーと原本奥付と二箇所あり内容が異なる場合がある。その場合、必要があればカバーなどから補って読む。カバーの印刷は後になるので、著者紹介と違ってくることもある。著者紹介では、生年月日だけだが、カバーでは、没年が記入してあることもある。

9. 原本凡例

①原本凡例と違う処理をする場合は、その旨をその場でことわる。録音図書凡例で断わる場合は、後になるので慎重にする。原本凡例が沢山あって音声訳の処理が違うケースが多いときは、その都度、断った方が良い。断る場合、「音声訳者注、○○○・・・ 注終わり」と入れる。

(参考) 原本凡例がついている墨字図書は辞書、専門書などに多く一般的な図書に付いているものは少ない。

前回の「コウセイ」の処理の補足

前回、「コウセイ」の字の説明で、「…康生、甲西」の部分で、「健康の康、生まれる地名のコウセイ」としましたが、『二つとも地名で、「康生」は愛知県岡崎市の町名である』との指摘を受けました。最初町名であることが分かりませんでしたので、字の説明をしましたが、町名であることがハッキリしましたので、補足するとしたら、「岡崎市コウセイ町のコウセイ、滋賀県のコウセイ町のコウセイ」などと読むべきでしょう。

漢字の補足で悩んだ時は？

どんな時に、漢字の補足をするのか、音声訳者や校正者によってもさまざまな意見があり、混乱もあります。一応、これらの混乱をさける意味から、漢字の補足で迷った時にどうするかについて紹介しましょう。

まず、どうしようか迷ったら、手持ちの辞書（広辞苑程度の辞書）でその言葉を引いてみましょう。引いてみて、その言葉が一つしかなかったら、基本的には補足の必要はありません。もし、その言葉が他にもあり、アクセントも同じで、前後の文章でそれらとの区別が付かないような時に「その言葉と分かる補足をします」。また、辞書に載っていないような言葉（造語）の場合も補足をする場合があります。漢字を補足するのは、難しい言葉だからするものではありません。あれこれ解釈され、意味が正しく伝わらない時に補足をするという事です。つまり、辞書でも引かないと「意味が分からない難しい言葉」を補足するものではありません。言葉の意味を知っているか知らないかは個人差の問題であり、それは基準になりません。あれこれ迷ったら、まず辞書を引くことから始めましょう。

ある例ですが、図書館学の本で、「ショカ」という言葉の字の説明をされていました。「ショカ」ということばが耳慣れない言葉だからでしょう。しかし、図書館の話で「ショカ」と言えば普通「書架」の事をさします。広辞苑を見ると、「ショカ」は、「初夏」「暑夏」「諸夏」「諸課」「書家」「諸家」と出ています。前後の文章で、この中の言葉と間違いそうな時には補足します。こんな例もあります。「…水に晒して乾燥させたものを「葛根」と呼んでいる。これを「センヨウ」とすると、血行をよくし、解熱、発汗作用があるため、…」この「センヨウ」は、辞書には、「宣揚」「専用」「占用」「専要」「閃揺」などがありますが、この文章の「センヨウ」は「大漢和」にもありません。読者は、「専用」の方を想像された方が普通でしょう。この「センヨウ」は、「センジ、モチイルのセンヨウ（煎用）」でした。

補足のポイント

【「芝居」をどう読むか 李応寿】（前回の練習問題1）

私の長女の名前は「桃教」である。モモニ、キョウイクノキョウ 故事から取った名前ではあるが、東京で生まれたので、その発音をもじった名前でもある。この長女の名前を付けて以来、私は、東京という言葉について、異様なほどの関心を持ち続けてきた。最近、この言葉の韓国語訳に関心が向いている。日本ではトウキョウをヒガシニキョウトノキョウと書き、TOKYOと発音する。しかしこの言葉はカナで書かれる場合は少なく、ほとんどの場合、漢字で書かれている。そのせいか、同じ漢字文化圏の韓国では、漢字をそのままハングル読みしてTONGKYOUNGと呼んでいる。この現象を私は納得しない。というのは、東京はハングルでもトウキョウ、と訳すべきであって、TONGKYOUNGなどと呼ぶのは、まるで日本人が「済州島」（チェジュド）をチェジュドと言わず、サイシュウトウと呼んでいるのと同じことになってしまい、国際化されつつある現代社会にふさわしくない現象だと思っているからである。

しかし先月のこと、日頃の念願であった『日本演劇全史』の韓国語訳に手を出したとたん、私は一つの問題に会ってしまった。それは「芝居」という言葉から起こった。芝居という言葉は、もともと芝生からきている。古き時代の芸能が芝生の上で行われたのでそこから派生し、後には、貴族たちの観覧席である棧敷と区別して安価な露天席を指すようになり、やがては、演劇そのものを指す言葉として発展してきたのである。だから、「東京」をトウキョウと訳す私の論理からすれば、この言葉の歴史的な意味を生かすためには、「芝居」を「演劇」と区別してシ、バ、イ、と書き、SHIBAIと発音しなければならない。が、こう訳していったのでは切りがない。「役者」と「俳優」はもちろんのこと、「脚本・台本・台帳」などと「戯曲」との間柄になると、問題はもっとややこしくなってくる。その上、相手が専門書だけあって、一つの文章のほとんどがそのまま日本語のハングル読みになってしまう例さえ出てくる。いくら注を付けるにしても、これを翻訳とは言い難い。先の東京は固有名詞だからトウキョウとし、芝居は一般名詞だから「演劇」と訳したのは、文化の奥深いところを軽視するような気がしてならない近ごろの心境である。

【誤記誤用一行寸評】（前回の練習問題2）

以下に掲げるものは、ここ一年半ほどの「新潮」責了紙から拾い集めた実例の数々。もとを糾せば、単純な書き間違い、思い違い、勘違いの類なのでしょうが、それなりに捨てがたい味もありまして……。* 仮空（架空）、絵空事はあくまで仮のものだから……。

これを書いてある通りに音声訳するとどうなるでしょうか。

「かくう、かくう、はじめのかくうは、かりのかにそら、あとのかくうは、はしをかけるのか、

にそら、えそらごとはあくまでかりのものだから。」としたら、何が正しくて何が間違っているのかよく分かりません。著者はなぜよく間違うのかを説明しています。これらが混乱しないような読み方を工夫する必要があるでしょう。

例えば、(*) のところで、

「音声訳者注、以下、○○個の例があげられています。最初に間違った漢字の説明、次に著者のコメント、その後に正しい漢字の説明をしながら読んでいきます。注終わり。」と断り、

「1、カクウ、仮のかにそら、絵空事はあくまで仮のものだから 正しくはカクウのカは、橋をカケルノカにソラ、

2、可不足なく カはユウ、リョウ、カのカ、可もなく不可もなくが頭にあってつい、正しくは、カフソクのカは超過のカ、コエル。

3、・・・・・・」

と読み進んではどうでしょうか。数字を入れるのは、最初に幾つあるかをコメントしているので、不必要な人は飛ばすことや、一つ一つの変わり目をはっきりさせる意味もあります。つまりこのようなものは、単なる文章として処理するのではなく、形式としては一覧表といえるものですから、どの程度あるのか、どんな項目なのか、どんな順序で読むのかなど表を読む形式などを参考に処理をする必要があるといえます。

正誤表から・・・その39

語句	誤読	正しい読み	語句	誤読	正しい読み
貧欲	ヒンヨク	ドンヨク	截然	タイゼン	セツゼン サイゼン
反駁	ハンパツ	ハンバク	必携	ヒツタイ	ヒツケイ
敷設	シセツ	フセツ	虐め	ハズカシメ	イジメ
雪道	セツドウ	ユキミチ	前腕	マエウデ	ゼンワン

二通りの読み方があって各々意味が異なるもの・・・その26

様	ザマ 様子、ありさまを嘲って言う ザマ 物事/方向、形/方向の趣に シ包括的ニ付語。敬称、姿、形	様様	ザマザマ 自分にとってありがたい。 ザマザマ あれこれ異なっている様。 売買 いろいろ、種々。
人口	ヒトクチ 他人の言葉、人の噂 ジンコウ	好事	コウジ ヨコト、目デ外事。ヨイ行い。 コウズ 変ワケ物ヲ好事。風流を好ム事。
御供	オモヒ つき従って付ト。又、ソ人。 ゴクウ 神仏に供える物。	大体	ダイタイ あらまし。材ヲ。モトト。 タイ コレコレノ様。おおよう。

きれいに録音する為に (第6回)

声をクリアーに録音する その2

マイクの価格と感度

前回、マイクの種類は2種類あること、また、エレクトレットコンデンサーマイクの方が感度が良いと紹介しました。音質は、コンデンサーマイクの方がシャリシャリとした感じで高音が強調されますが、ダイナミックマイクの方はややソフトな感じで中音が強調されます。マイクの感度は価格によってかなり違ってきます。同種類のマイクであれば、5、6千円程度のもものと1万円程度のもとのでは相当感度に差がでてきます。家庭録音の場合、ある程度感度の良いマイクを使用の方が無難です。つまり、少々声量のない人でも録音のボリュームを絞って録音することができるからです。ダイナミックマイクであれば価格は1万円程度のものが必要でしょう。もちろん、カセットデッキ使用の場合を想定しています。本体の3割程度がマイクの価格と言われてます。マイクの価格は4万円、5万円とありますが、音楽会などのように極端に低い音や高い音を録音するには必要かもしれませんが、一般に人間の音域を録音するには1万円台のものであれば充分です。

マイクの感度は種類によっても違ってきます。ダイナミックマイクとエレクトレットコンデンサーマイクとでは、同程度の価格であれば、後者の方が感度はよくなります。どちらのマイクを選ぶかは、本人の声の質（高音の人がコンデンサーマイクを使うとより高音が強調され、疲れる場合がある）や声量、口の中の音なども考えながら判断することが必要でしょう。

一般的に声量がない人は、コンデンサーマイクの方がベターですが、口の中の音などが目立つ人はダイナミックマイクの方がベターでしょう。コンデンサーマイクの場合電池切れが起こると音質が極端に落ちますので気を付ける必要があります。

適正ボリューム

録音技術で案外いい加減になっているものにボリュームの調整があります。最近、グループで録音されたテープを聞く機会が増えていますが、7～8割の方が適切な録音ボリュームでないようです。まず、全体的に録音ボリュームは低いのが特徴です。ボリュームが低いと、再生するとき音が小さいため、再生ボリュームを大きくしなくてはなりません。そうするとテープ自身の雑音である「シャー」（テープヒス）という音も同時に大きくなり聞きづらくなります。

まず、適正なボリュームは、ピークレベルメーターのふれ具合が、常時、-4から0に届いている程度がよいでしょう。常時0を越えているようだと少しオーバー気味、常時-10や-20程度だと低すぎます。録音ボリュームが大きすぎると転写（磁気の影響で前後にエコーがかかる現象）は大きくなるようです。「適正ボリューム」で録音することは、録音技術で最も大事な仕事の一つです。

お知らせ

* 8月の『ろくおん通信』は休刊です。

【調査資料紹介】

『ボランティア活動のために』シリーズ
音訳・点訳の読み方調査テクニック
参考図書活用法・難読語句の読み方
・調べ方 -合本版-
編著 北川和彦 中條弘子
定価 2,000円

『音訳・点訳ボランティア研修会 テキスト』
音訳・点訳の読み方調査テクニック
1994年版
著者 北川和彦
定価 300円

申込先→ 〒262 千葉市花見川区朝日ヶ丘3273

にれの木台団地2-23-301

北川 和彦 氏 TEL 043-272-3276

これまで発表されてきた5シリーズが合本版になっています。内容は、Ⅰ. 基本/Ⅱ. 人名・地名/Ⅲ. 略語・記号・単位/Ⅳ. 参考文献(特に欧文)/Ⅴ. 西洋医学。

調査等で苦勞されることが多いと思いますが、お役にたつ資料だと思います。また、「音訳・点訳ボランティア研修会テキスト」は著者が講習会等で使用されているテキストをまとめたもの。

SONY、音訳用の専用カセットデッキ、「TC-RX1000T」を発売開始
定価 39,800円 *地域の特約店で取り扱います。

SONYが、この6月末から、音訳ボランティアの為の専用カセットデッキ、「TC-RX1000T」を完成させ全国の特約店で販売をはじめました。(今回号に「全国の特約店リスト一覧」のチラシを同封しています。)録音機そのものは限定生産の為、店頭には展示されず、取り寄せ扱いになるようです。定価は39,800円ですが、店によって差はあると思いますが、いくらかの割引はできる様です。詳しくは該当する地域の特約店でお尋ね下さい。録音する為には、他に、マイク、マイクスタンド、ヘッドフォンなど(分岐コードは不要)が必要ですが、これらを揃えると全体では約4万円~5万円になります。

**第4回
東洋医学研究会**

日時: 8月19日(金) <予定>
15:00~16:30

講師: 片山一夫氏(国立神戸視障セン)

場所: 盲人情報文化センター 6階

参加費: 100円(資料代等含む)

* はじめて参加される方は録音製作係
までご連絡下さい。

第2回

音声訳研修の会

日時: 7月20日(水)
13:30~15:30

場所: 盲人情報文化センター 9階

参加費: 無料。

内容: チームに分かれて処理の研究を
行います。曜日が変わりました。

次回: 9月27日(火)